

■平成26年度執行目標（達成状況） 生活環境部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題等	項目 (単位)	根拠計画 等	H26 実績値	H26 目標値
生活環境部	市民年金課	1	事前登録型本人通知制度の推進	事前登録型本人通知制度の運用を開始（6月予定）し、より一層の人権保護に努めると共に個人の権利の侵害防止を図る。	概ね達成	この制度を平成26年6月2日から運用を開始し、登録者数も順調に増加している。今後も引き続き市民に制度の周知を図るとともに、個人の権利の侵害防止を図り、より一層の人権保護に努める。				
生活環境部	市民年金課	2	個人番号カード交付の円滑な推進	社会保障・税番号制度の個人番号については、平成27年10月に付番を行い、平成28年1月に個人番号カードの交付が予定されているが、スムーズな交付処理が出来るように準備作業を行い、関係部局との連携調整を図る。	概ね達成	住基ネット連携システム（GWサーバー）の個人番号に係る改修を行った。				
生活環境部	人権推進課	1	木津川市男女共同参画計画の見直し（後期計画の策定）	平成22年3月に策定した木津川市男女共同参画計画の「具体的施策」については、概ね5年後に後期計画を検討するとしているので、今年度見直しを実施するものである。	概ね達成	男女共同参画社会を推進していくための総合的な計画として、平成27年度から平成31年度までの男女共同参画計画の後期計画を策定した。今後も庁内の調査等を実施するとともに、社会情勢の変化、新たな国の施策などに柔軟に対応するため、必要に応じ見直しを行う。				
生活環境部	人権推進課	2	「人権啓発パンフレット」の作成	市民の人権意識向上に向けた「人権啓発パンフレット」を作成し、全戸配布を行う。	概ね達成	全戸配布期日は1か月遅れたが、全市民のほか、嘱託職員や臨時職員も含めた市役所職員全員への配付を実施し、市民への啓発だけでなく、職員の資質の向上も図った。				
生活環境部	人権推進課	3	女性相談の充実	前年度からの取組みで、女性を対象とした法律相談を検討するなかで、現在、弁護士会が実施している法律相談を、法テラス案件として相談のみ無料で受けられる場合があるので、弁護士会と調整のうえ、その案内（紹介）を市民の方々に周知し、無料法律相談を利用することにより、女性相談の充実を図る。	概ね達成	現在、東部交流会館で実施されている弁護士の法律相談を、広報等で市民に周知し、女性が気軽に法律相談ができる体制づくりを図った。今後も誰にも相談できずに悩んでいる市在住の女性などを対象に、更なる啓発の取り組みを継続するものである。				
生活環境部	まち美化推進課	1	使用済小型家電リサイクル事業の円滑な施行	ごみの減量化、資源確保を進めていくため、制度の普及を図るとともに、使用済小型電子機器等の再資源化を促進する。	概ね達成	4箇所の拠点回収により、円滑な施行が実現できた。更に資源化を進めていくため、平成27年度からピックアップ回収の施行に向けた準備を進めていく。	回収量 (kg)		3970	2000
生活環境部	まち美化推進課	2	新墓地整備の取組み	開発に伴う人口増の影響で、長年の懸案である墓地不足が慢性化している中、木津中央特定土地区画整理事業においてその一部が墓地用地として指定されたことに伴い、平成25年度に用地を取得。平成26年度測量及び実施設計を行い、平成27年度造成工事、平成28年度に分譲を目指して取組みを進める。	概ね達成	測量及び実施設計の実施。 一般墓地区画約430区画をはじめ、近年、高齢化、核家族化が進む中、需要が高まりつつある管理委託型である合葬式墓地(4000体)の整備を計画した。その他、駐車場44台。				
生活環境部	まち美化推進課	3	資源ごみ持ち去り禁止条例の円滑な施行	近年、市内の家庭から出される家庭ごみを無断で持去る悪質な行為が見受けられ、市民の皆様から安心してごみを出せない不安や心配事など多数の声が寄せられていることから、これらの行為を禁止するための条例を本年4月1日付けで施行した。何より制度の実効性を確保するために、木津警察署との連携を強化し、違法行為の抑制、違反者の取り締まりに努める。	優秀に達成 (困難事項・成果大等)	平成26年度に52回のパトロールを実施。16件の行為を確認、指導を行う。内、2件は2回目の確認であったため、禁止命令の行政処分を施行。持ち去り行為は、激減した。 粗大ごみ回収量 794,420kg(前年度比107,110kg(15.6%)の増)				
生活環境部	クリーンセンター建設推進室	1	クリーンセンター建設に向けた諸準備	クリーンセンターの早期整備に向けて、これまでの経過・成果を踏まえ、地元住民はもとより、市民の理解と協力を得るために努めるとともに、本年度においては、主に次の取組みを実施する。 ・敷地造成の完成を目指す。 ・施設整備事業者の選定を行う。 ・市民に親しまれるクリーンセンターを目指して、正式名称を検討する。	概ね達成	①敷地造成工事について、地質状況の影響等により、若干の遅れはあるものの、施設整備に影響することなく進捗している。 ②施設整備事業者選定について、総合評価方式によるプロポーザルを実施し、平成27年3月に議決を得て、事業者と契約を締結した。 ③施設名称について、市民から名称案を募り、選定作業を進めている。平成27年6月に正式名称を決定予定。				
生活環境部	観光商工課	1	観光協会の自立に向けた方策の検討	観光振興の観点から、市の魅力開発プロジェクト～アイデアと人を全国公募～の実現に向け、協会の運営強化に向けた支援を継続する。	一部未達成 (成果小)	協会運営に必要な諸規程の整備支援を行い組織強化を図った。 なお、協会の自立にも関わる人の全国公募には至っていない。	連絡調整会議の回数(回)		4	12

■平成26年度執行目標（達成状況） 生活環境部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題等	項目 (単位)	根拠計画 等	H26 実績値	H26 目標値
生活環境部	観光商工課	2	木津川アート2014の実施	木津川アート2014の開催 今回から、作家への制作費補助を行うほか、賞を設け、アートイベントの充実を図る。	概ね達成	TVニュースにも取り上げられるなど、市民協働を活かし市の魅力発信を行った。	イベント参加者数 (人)		8502	10000
生活環境部	観光商工課	3	「環の拠点」の整備・運営に向けた検討	木津川市環の拠点創出事業計画を推進するため、環の拠点事業の運営等について、地元地域住民、関係団体・機関等と調整・検討を進める会議が必要であることから、検討会を設置し、拠点施設の整備に向けた検討を行う。	概ね達成	拠点施設耐震診断・補強改修設計を行ったうえで、その診断結果を受けて木津川市環の拠点創出事業活性化検討会を開催した。	検討会の開催回数 (回)		1	3
生活環境部	観光商工課	4	当尾地域活性化協働モデル事業の実施	当尾地域において、ウォーキング等を活用した観光振興を図り、地域住民と一体となった地域力の活性化を促進する取組を推進する。	概ね達成	委員による現地歩きも含め、素案づくりに向け委員会を開催した。	委員会回数 (回)		4	4
生活環境部	観光商工課	5	商業・中小企業の活性化	市の魅力発信、市内商工業者への支援を目的に、継続して「ものづくりフェア」を開催し、より多くの市民に知っていただき、地元地域での購買意欲を促し、地域経済の活性化を図る。	概ね達成	ものづくりフェアを開催。延べ640人の来客者。 市役所来庁者のみならず、多くの方に市内でつくられたものを知っていただき、地域経済の活性化に繋げていけるよう工夫をもって継続開催に取り組む。	事業PR等回数 (回)		4	5
生活環境部	観光商工課	6	木造住宅耐震改修等サポート補助金の周知	耐震改修制度を利用される方は増加傾向にあるが、市内業者・市民に向けて、関係課と連携し、効果的に制度周知を行い、市内業者の利用を促進する。	概ね達成	市広報紙及び街頭啓発によってPRを実施。サポート補助金の利用は、本格改修4件、簡易改修1件の申請があった。	制度利用件数 (件)		5	45